韓国旅行(11/6~11/10)の覚書 M.S.

Revised:2024/11/24
Original:2024/11/22

コロナ前にパスポートを更新して今回が初めての海外旅行になった。今回は妻の卓球の試合の応援を理由にした韓国旅行となった。期間は 2024 年 11/6~11/10 の4泊5日。

韓国に仕事で初めて行ったのは1980年代の初頭だから40年以上も前のことだ。その時はまだ独身だった。その時、どういうわけか、結婚した相手とソウルタワーに登ろうと決めた。結婚後、その後何度も仕事で韓国(主にソウル近郊)に行ったが、一人での出張だったので、ソウルタワーにはあえて登らなかった。今回40数年ぶりにその夢が叶ったことになる。

今回の旅行の目的は4つ。一つは妻の卓球の試合の応援、二つ目は妻とソウルタワーに上ること、三つめは「西大門刑務所歴史館」訪問、4つ目は「戦争記念館」とそれに付随する「朝鮮戦争の歴史記念館」訪問。

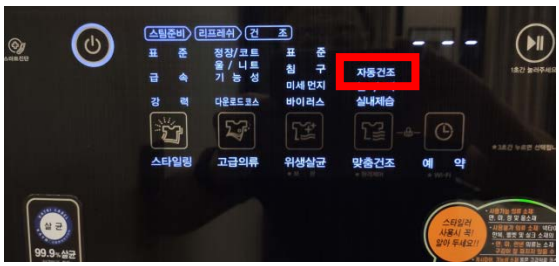
妻が早々と試合に負けてしまったので観光する時間が取れ、ソウルタワーに上ったのはもちろん、上記以外に、景福宮(光化門)、明洞、梨泰院などは妻と一緒に見学した。予想外に良かったのは光化門の近くにあった、「大韓民国歴史博物館」だった。今回は時間が無くて国立中央博物館には行けなかったが、景福宮の隣にある国立古宮博物館は見ることができた。

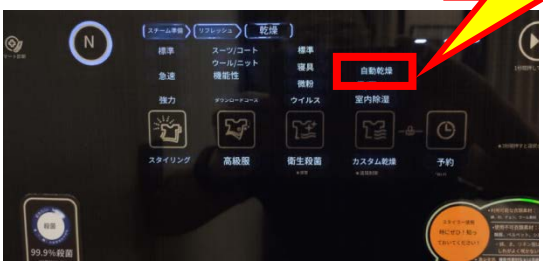
以下は時系列の覚書

2024/11/6日(1日目): 羽田=>金浦空港へ

羽田空港で8:45分に韓国に遠征する卓球クラブの方たちと集合後、全日空 NH861 で金浦空港へ。11 時半ごろ到着。第15回アジアベテラン卓球選手権大会(2024 15th Asian[Pacific]Veteran Table Tennis Championship)の行われる城南市体育館までシャトルバスで 15 分くらいのところにあるソヒョン駅(서현역、書峴駅)まで電車を乗り継ぎ約1時間半。

ホテル内の設備で感心したのは乾燥機付きのロッカーがあったこと。





自動乾燥

これはとても便利だった。(Google 翻訳機や Papago は今回の旅行で非常に役にたった。)

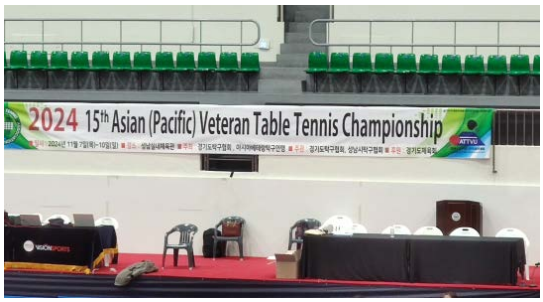
今回のホテル(KYND hotel)で残念だったのはお風呂がついてなかったこと。韓国では浴槽がなくシャワーが普通だそうだ。もちろん仕事で泊まったホテルにはどこにも浴槽があった。

2024/11/7 日(2日目 午前中)： 卓球大会一日目(団体戦)

城南市体育館までシャトルバスに同乗。第15回アジアベテラン卓球選手権大会は 381 人の選手がアジア各地から集まって行う大会だった。そうとは知らず、前回同様の韓国のクラブとの親善試合だと思っていたのでその規模にびっくりした。

ソウル駅から直線距離で南東に20Km。
城南市(성남시:ソンナム市)は人口93万人で結構の都会だ。

午前中は団体戦があったが、妻が参加した女子は2チームとも一回戦で敗れしてしまったので、明日の試合はなくなった。午後は男子チームを応援する妻とは別行動でソウル市内に向かった。



第15回アジアベテラン卓球選手権大会の全景（LIVE! | T6 | Day1 <= 団体戦）
(LIVE | T13 | Day3 <= 個人戦)

中国選手とレフリーと対戦前の話し合い。
動画を見るとレフリーは韓国語で話している。果たして話は通じていたのだろうか。

対戦中
1 セット奪えた試合の場面。

2024/11/7 日(2日目 午後):

城南市体育館から近くの牡丹駅(모란역:モラン駅)までタクシーを拾おうと思ったが、通行人に聞いたら歩いても遠くないとのことで駅まで15分くらい歩いた。韓国ではビルの窓や壁にたくさんの看板がかかっていて、ごちゃごちゃしたように見える。

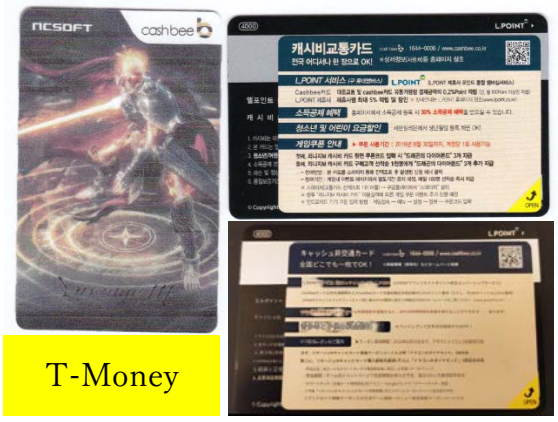
窓に沢山の看板がある

牡丹駅近くの大きな交差点

この写真の熟した柿(연시)は10個500円。レストランやカフェでの食事もそうだが韓国の物価は全体的に安く感じた。

各駅にはT-Money(日本の交通系カードのようなもの)の販売・チャージ機がある。Google翻訳機で日本語表記をして確認。T-Moneyは非常に便利。
韓国でも使える駅探=>こちら　ソウル近郊の路線図は=>こちら(韓国語)

駅に設置されていた機械の画面をGoogle翻訳



T-Money

T-Moneyのチャージ残りは約700円

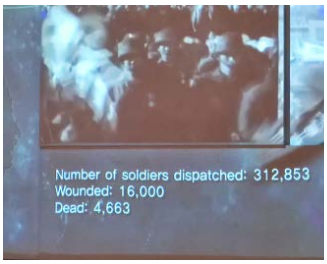
「戦争記念館」までは書峴駅 (서현역：ソヒョン駅)から三角地駅(삼각지역:サムガクチ駅)まで電車を2回乗り換えて行った。約1時間、料金は約6,000ウォン(600円)。

2024/11/7 日(2日目　午後)
「戦争記念館」とそれに付随する「朝鮮戦争の歴史記念館(無料)」訪問

玄関にあった戦争記念館全図

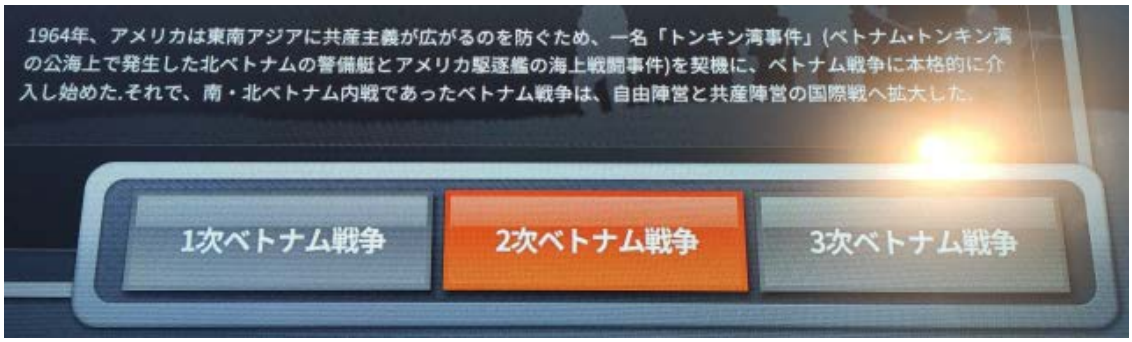
戦争記念館の正面　ソウルタワーが右奥に見える

第2次世界大戦の終戦とともに日本の支配が終わり、過去19世紀の支配を続けていこうという、フランスの試みに対しベトナムは10余年の抗戦の末に勝利した。しかし、ベトナムは共産主義と民主主義の対決で南北に分裂され、1964年のいわゆる「トンキン湾事件」を契機に、米国が戦争に介入し、国際戦争に拡大された。ベトナム人たちの強力な抵抗とゲリラ戦術に押されて、戦争が長期化されると、反転世論が拡散され、1973年に米軍が撤収し、1975年には、ついに、ベトナム統一政府が樹立された。



韓国は 31 万 2 千 853 人の兵士をベトナムに派遣。
1 万 6000 人が負傷し、
4 千663人が死亡

ソウルタワーの拡大図



トンキン湾事件は、1964 年 8 月、北ベトナム沖のトンキン湾で北ベトナム軍の哨戒艇がアメリカ海軍の駆逐艦に 2 発の魚雷を発射したとされる事件で、これをきっかけに、アメリカ合衆国連邦政府は北爆を開始、本格的にベトナム戦争に介入することになったと言われている。しかし、1971 年 6 月『ニューヨーク・タイムズ』が、いわゆる「ペンタゴン・ペーパーズ」を入手、この事件はアメリカ合衆国が仕組んだものだったことが暴露された。しかし、韓国の戦争記念館のベトナム戦争の記述ではアメリカが戦争介入のためにでっちあげられた事件だったということを伝えていない。また、ベトナム戦争時に韓国軍兵が現地の女性を性的に暴行するなどして生まれた混血児(「ライダイハン」の蔑称で呼ばれ、ベトナムで差別を受けてきた。5000~3万人に上るとの説がある。) についての記述もなかった。 それは靖国神社の遊就館と同じで、戦争加害責任にかかわる掲示はしていない。

帰りがけに入り口の地下に作られた朝鮮戦争の記念館を見たが、全て韓国語の展示だった。韓国では、6.25 韓国戦争と言うのが「朝鮮戦争」を指す。

ソウルの中心地では日本語表記も見られる
三角地(삼각지:サムガクチ)という表記がある。

ソウル市内のすべての地下鉄ホームには、線路に落ちる事故を防止するためのスクリーンドアが設置されている。 地下鉄は日本のシステムより優れているように感じた。ただ、日本の都心の地下鉄のように数分単位で電車が来るわけではない。

「日本語」と書かれている
T-Money も買える販売機の画面

反対ホームのスクリーンドア

2024/11/8日(3日目　全日)　南山のソウルタワー見学

　妻が前日の女子の団体戦の試合で負けてしまったので、今日は二人でソウルタワー見学に行った。今日も快晴でソウルタワーからはソウル市内が見渡せた。漢江(한강:ハンガン:ソウルの中心を流れる大きな川)がずいぶん大きく見えた。ソウルからは山が近い。青瓦台(청와대: せいがだい:大韓民国政府を指す)も良く見えた。

警護交代の儀式

南山のケーブルカーを降り、Nソウルタワーへ向かう途中に南山烽燧台(남산봉수대:南山のろしだい)がある。烽燧台は5つの煙突で構成されており、この煙突から出る煙の数でソウル地域の安全環境を知らせるためのものだったという。５本の煙突全てから煙が出ているときは、ソウルが敵に侵略されていることを示すという。

ソウルタワーを見学後、タクシーで明洞駅(명동역：ミョンドン)まで下った。明洞は渋谷のような感じのする町で、人通りが多かった。夕方は韓国人の知り合いと夕食の予定があったので、市内を少し見学して、少し早めにホテルに戻る。

ケーブルカーの料金・往復(二人)　約 2,300 円
ソウルタワーの入場料(二人)　約 2,100 円

夜は韓国人の元同僚がホテルまで迎えに来てくれて、牡丹駅の近くの韓国料理屋さんで、三人で食事をした。韓国での子供の教育のこと、少子化の問題、福祉の貧困の問題など、韓国の中堅層の男子の両親の介護の問題は深刻なようだ。 約2時間話したが、共通言語は英語。

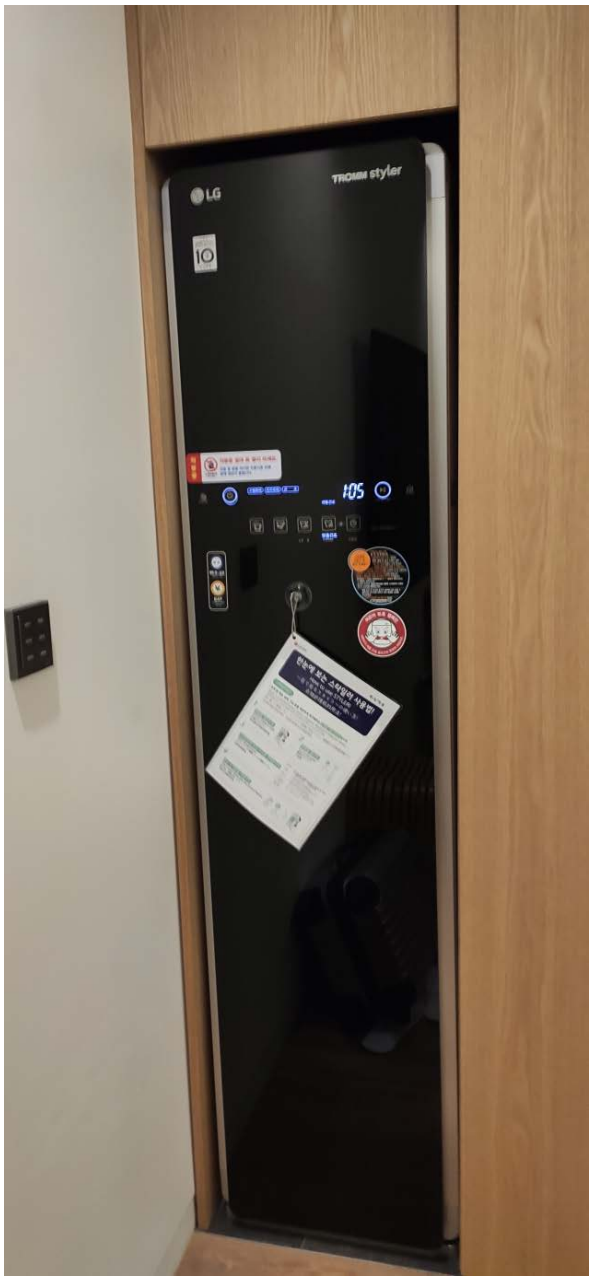
真ん中手前の白い鍋は日本では見られない濃いスープの参鶏湯(삼계탕:サムゲタン)

下の写真の「GS25」はホテルの近くにあった韓国のコンビニ。「GS25」は街のあちこちにある。日本のコンビニと同じで品揃えが充実していた。この場所はホテルの裏口を出て書峴駅 (서현역：ソヒョン駅)へ行く途中の場所。

ソウルの 11 月初旬は日本より寒い。韓国は北緯 33 度から 38 度の間に位置しており、首都ソウルは日本の新潟と緯度がほぼ同じ。そのためか朝方は冷える。 ホテルの裏の通りは幅の広い裏道だったが、上の写真のように銀杏の黄色い紅葉がきれいだった。

泊まったホテル(Kynd Hotel:카인드 호텔：カインドホテル)内にあった乾燥機付きロッカー

左のロッカーは最初のページで紹介したホテルの部屋にあった乾燥機付きのロッカー。
右はエアコンのコントローラー、全て韓国語で Google 翻訳があって良かったと思った。
一般にソウルから離れてしまうと英語表記がなくなるため、翻訳機は必需品だ。



5日間いる間よく利用したソヒョン駅
(서현역，書峴駅)の看板
左側の写真は駅への入り口

2024/11/9 日(4 日目　午前中)
「西大門刑務所歴史館：서대문형무소역사관」訪問

妻は今日は個人戦に出るのでチームメートとともに城南市体育館へシャトルバスで出かけた。一昨日の団体戦で妻の実力が分かったので、今日の午前中は、今回の旅行の目的の一つの西大門刑務所歴史館を訪問することにした。駅探を使わず、路線図を見て、勘で西大門刑務所歴史館を目指したため、ソウル郊外の駅経由になってしまい、予定より30分くらいかかってしまった。右の写真は歴史館に近い独立門駅(독립문역)の通路にあった周辺地図案内板。

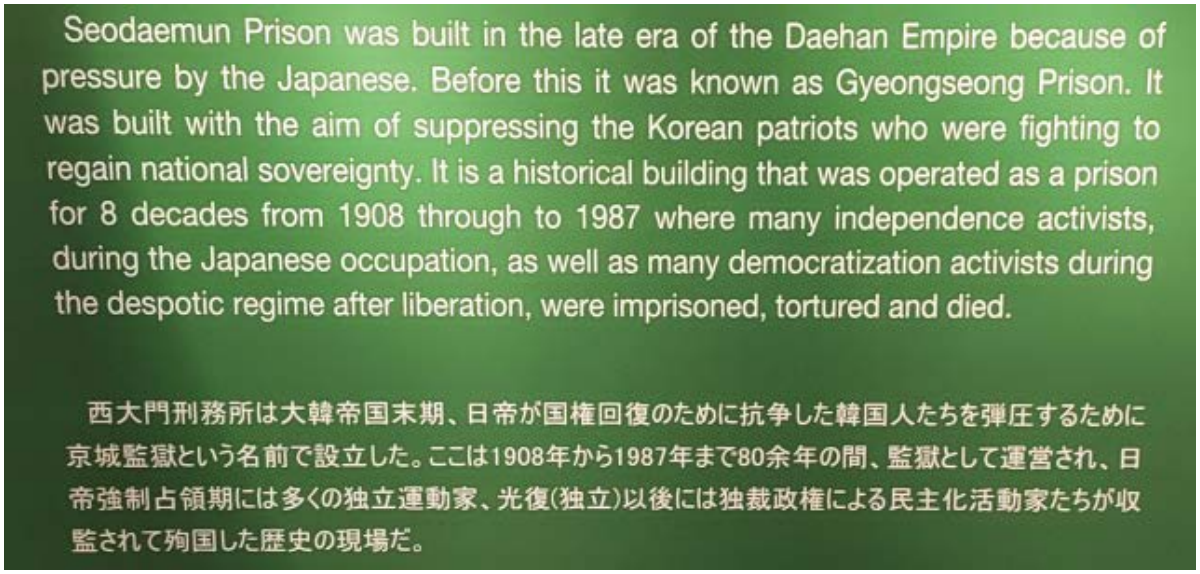
下の写真は西大門刑務所歴史館の正門で、そのすぐ右側に入館口がある。門の上には「서대문형무소역사관(西大門刑務所歴史館)と書かれている。

西大門刑務所歴史館の正門

入館口を入ると旧刑務所。刑務所の庭に入って右側に、入館のための券売所があるが、外国人はパスポートを提示すれば入館無料だ。

入門して正面に本館が見える。この中が資料館として使われている。 入館してすぐのところに、「自由と平和に向けた80年(자유와 평화를 향한 80 년)」の掲示があった。そして、英語、日本語、中国語で、この歴史館についての説明文があった。

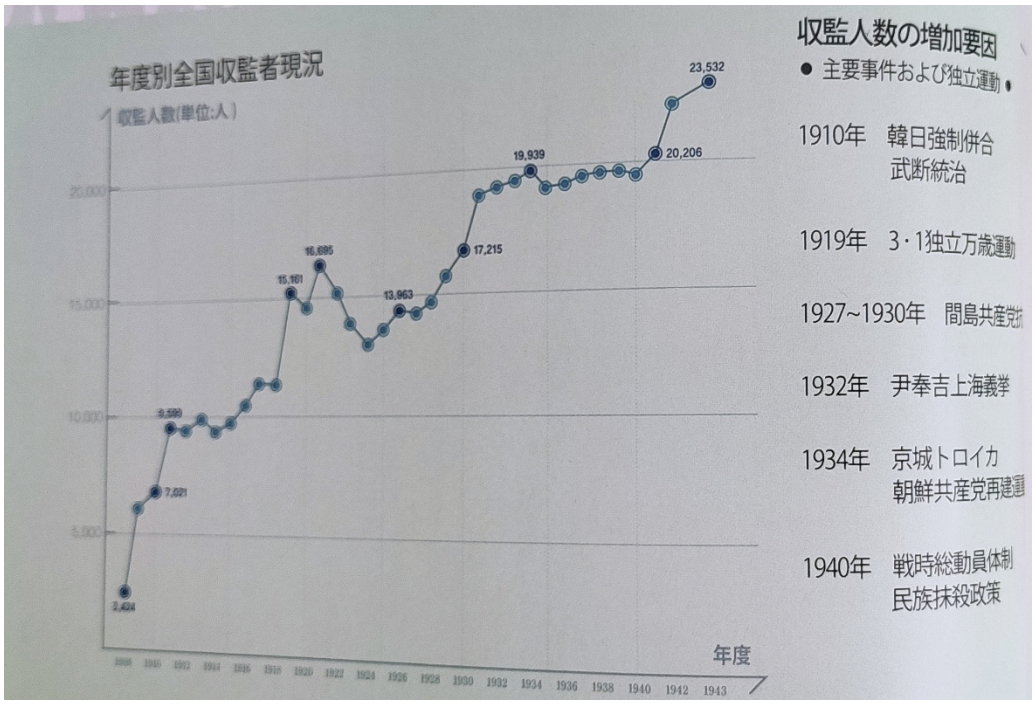
「西大門刑務所は大韓帝国末期、日帝が国権回復のために抗争した韓国人たちを弾圧するために京城監獄という名前で設立した。ここは 1908 年から 1987 年まで 80 余年の間、監獄として運営され、日帝強制占領期には多くの独立運動家、光復(独立)以後には独裁政権による民主化活動家たちが収監されて殉国した歴史の現場だ。」



この歴史館は単に日本の植民地時代の歴史を学ぶだけではなく、戦後の韓国の人たちが独裁政権とも戦ってきた歴史を描いている。

右の写真は収監されていた5,000人余の受刑者の「受刑記録表」を展示している部屋。小学校の生徒を連れた先生が説明をしているところ。午後に行った「大韓民国歴史博物館」と同じように、戦中・戦後の韓国の近代史を学べるようになっていたが、このようにして日本の植民地政策を学んだ韓国人が、当時の日本の植民地政策を反省しているようには見えない現代の日本という国にもつ印象はどうなのだろうと思った。これはフィリピンのマニラで戦跡ツアーに参加した時にも感じたことだ。

収監人数の遷移(1908～1943)



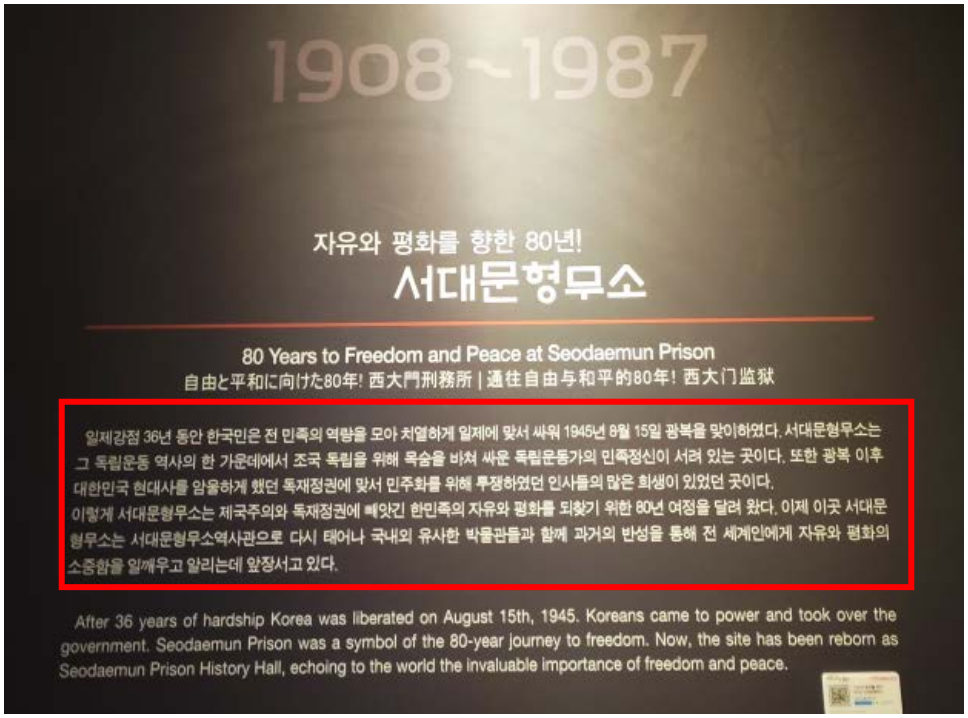
収監人数は、1908年の2,424人から1943年の23,532人までうなぎ上り。

1910年8月29日に日本は韓国を併合した。現在でも慰安婦問題や徴用工問題でその負の遺産が清算されているとは言えない。

安重根(あん じゅうこん、アン・ジュングン、안중근、1879年9月2日 - 1910年3月26日)は、大韓帝国(韓国)の独立運動家である。韓国では伊藤博文をハルビン駅構内で襲撃し暗殺した英雄として知られている。大韓民国歴史博物館では安重根の書画展が開かれていたので、今でも韓国にとっては重要な人物だ。

自由と平和に向けた 80 年！ 西大門刑務所 （訳は google 翻訳使用）

「80 年間、韓国人は全民族の力量を集めて激しく日帝に対抗して戦い、1945 年 8 月 15 日に光復を迎えた。西大門刑務所は歴史のただ中で祖国独立のために命を捧げて戦った独立運動家の民族精神が立っている所だ。また、光復以後現代史を暗鬱にさせた独裁政権に対抗して民主化のために闘争した人事たちの多くの犠牲があった所だ。このように、帝国主義と独裁政権に奪われた韓民族の自由と平和を取り戻すための80年の旅程を走ってきた。今ここ西大門刑務所歴史館に生まれ変わり、国内外の類似した博物館と一緒に過去の反省を通じて、全世界の人に自由と平和の告知をする先頭に立っている。」



ハンセン病患者収容所から獄舎を望む

西大門刑務所歴史館は独立公園の中にある

西大門刑務所歴史館は展示物や多くの写真を入れた下記のような本を出版している。
『独立と民主の現場　西大門刑務所歴史館』
発行日：2014 年9月
発行者：西大門刑務所歴史館
総括：パク・キョンモク、キム・テドン
定価：15000 ウォン(約 1500 円)
ISBN:978-89-87981-13-0

2024/11/9 日(4 日目　午後)
「国立古宮博物館(국립고궁박물관)」見学

独立門駅(독립문역)の隣の駅が古宮である景福宮(경복궁역，キョンボックン)に一番近い景福宮駅(경복궁역)。国立古宮博物館は以前一度来たことがある博物館。朝鮮王朝時代(1392 年から1910 年までの 518 年間、李氏が 27 代に渡り集権していた国家)の王達が記した文字と詩、遺物を展示している。測雨器(世界で初めて作られた雨量計)の大きさにはびっくり。今回はあいにく、2階部分が改装中で地下の常設展だけしか見ることができなかった。古宮での儀式の記録が画像で詳細に残されていることには感心した。親子連れの観光客がたくさん来ていた。入場は無料

国立古宮博物館の正門

国立古宮博物館と遠方の山
この写真の右側に古宮、「景福宮」がある。

景福宮に入っていく民族衣装を着た観光客

民族衣装を着ていると入場料が無料になる

2024/11/9日(4日目　午後)
「大韓民国歴史博物館(대한민국역사박물관)」見学

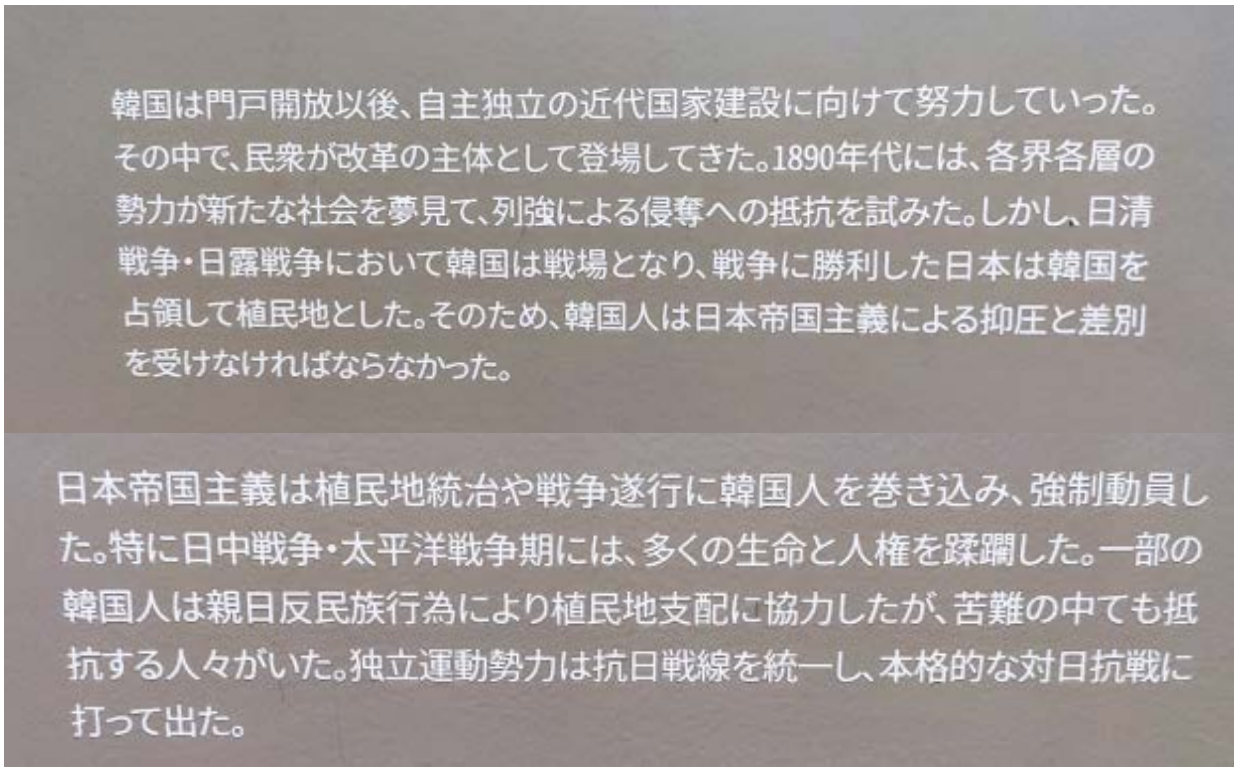
前の写真の右側に写っている門から景福宮に入り、右に行くと景福宮の正門である光化門(광화문)が見えてくる。非常に美しい門だ。

その門を出て大通りを渡り、小さな公園を超えたビジネスビルの中に大韓民国歴史博物館があった。 右の写真の赤い矢印の下のビル。このビルの屋上からの景福宮全体とその後の山々の景色は素晴らしかった。下の写真のように景福宮の全体と平地と山の境目に青い瓦屋根の青瓦台(청와대)ガ見える。

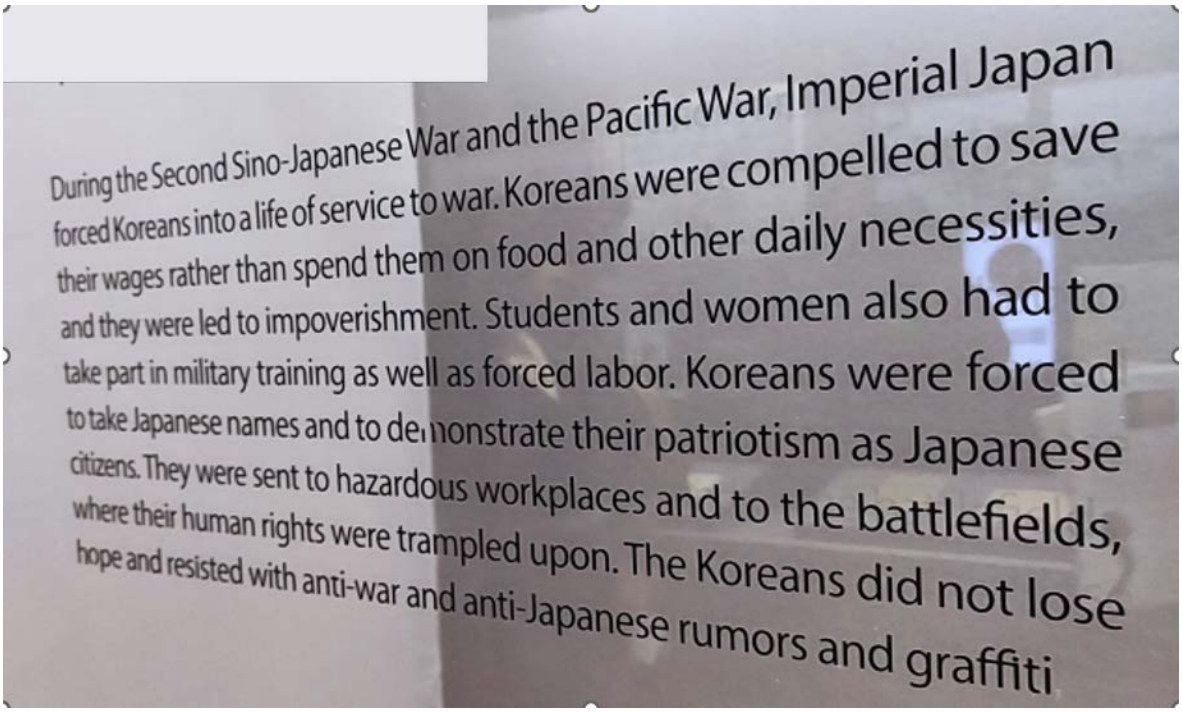
景福宮の中から光化門を望む

大韓民国歴史博物館ビルの屋上からみた景福宮の全景と奥の青瓦台

今回の旅行は、西大門刑務所歴史館と戦争博物館を目的にしていたため、この博物館には期待をしていなかったが、展示内容からいうと今回の旅行の中で最も充実した博物館だった。この博物館の展示物のほうが、西大門刑務所歴史館や戦争博物館よりも、日本の植民地下で起きていたことを良く伝えている。このような歴史を教わってきている韓国人と近現代史をあまり教わってきていない日本人の間に橋を架ける展示物が多くあるこの歴史博物館を、日本人の観光客の多くが時間を取って訪問して欲しいと思う。 この博物館の内容を理解することで、韓国人との和解を進めるきっかけになると思うからだ。この博物館は西大門刑務所歴史館と同様、日本の植民地下での韓国人の抵抗ばかりでなく、戦後の独裁政権と闘った人々の歴史も丁寧に取り上げていることも特徴だと思う。親子連れが多かった。残念なのは、西大門刑務所歴史館のように展示資料を本としてまとめていないこと。 入場は無料



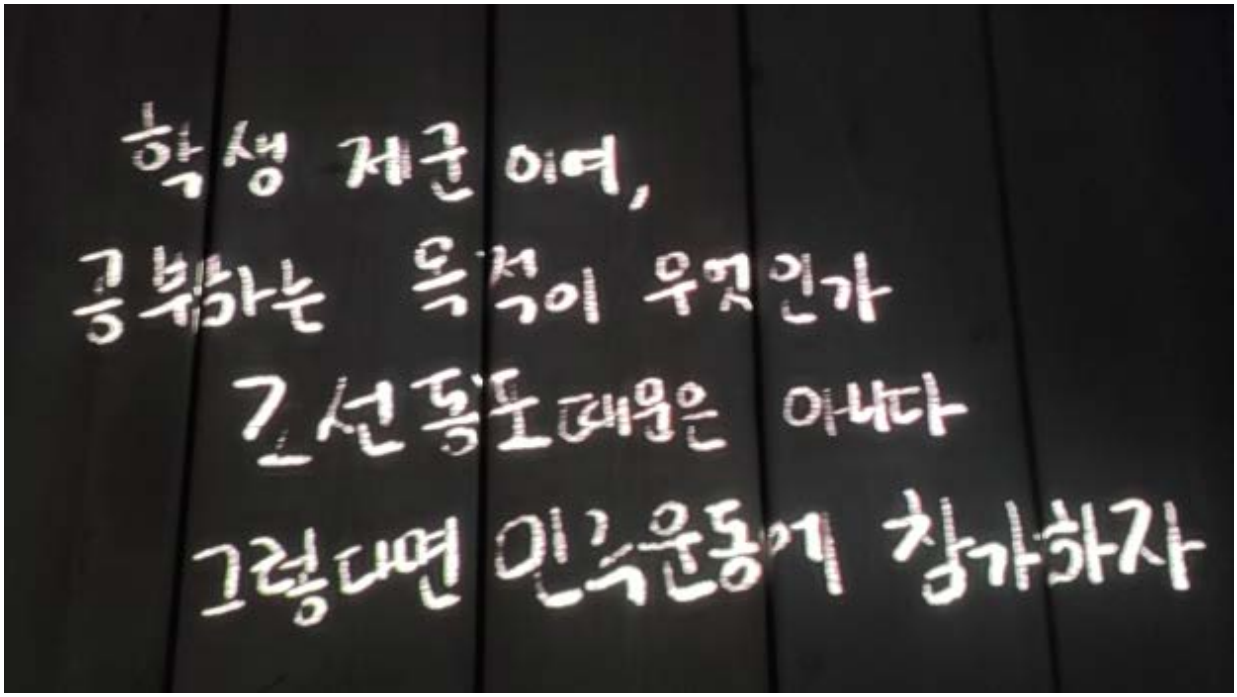
「日中戦争と太平洋戦争の間、日本帝国は朝鮮人を戦争奉仕の生活を強いた。朝鮮人は給料を食料や生活必需品に使うよりも貯金を強いられ、貧困に陥った。学生や女性も軍事訓練や強制労働に参加しなければならなかった。朝鮮人は日本名を名乗り、日本国民として愛国心を示すことを強制された。危険な職場や戦場に送られ、人権が踏みにじられた。朝鮮人は希望を失わず、反戦・反日の噂や落書きで抵抗した。」(Google 翻訳使用)



The Japanese Empire controlled daily life for Koreans through a variety of propaganda materials designed to effectively mobilize colonial manpower and supplies for its war of aggression.
Although it was daunting for ordinary Koreans to openly stand up to the violence of Japanese Imperialism, they resisted such incitement and control in their own ways, such as by spreading anti-war and anti-Japanese "rumors" and writing graffiti. As resistance to Japanese interference with their daily lives grew, cracks slowly appeared in the mobilization system, encouraging Koreans to cling to their hope for independence. The silent roar of those whose only trace is within the records of the colonial rulers now remains here.

「日本帝国は、侵略戦争のために植民地の人力と物資を効果的に動員するために考案されたさまざまな宣伝資料を通じて、朝鮮人の日常生活を支配した。 一般の朝鮮人にとって、日本帝国主義の暴力に公然と抵抗することは困難だったが、彼らは反戦・反日の「デマ」を流したり、落書きをしたりするなど、彼らなりの方法で扇動や統制に抵抗した。日本による生活への干渉への抵抗が強まるにつれ、動員体制に徐々に亀裂が生じ、朝鮮人は独立への希望にすがりついた。植民地支配者の記録にのみ痕跡を残す彼らの静かな叫びが、今ここに残っている。」 (Google 翻訳使用)

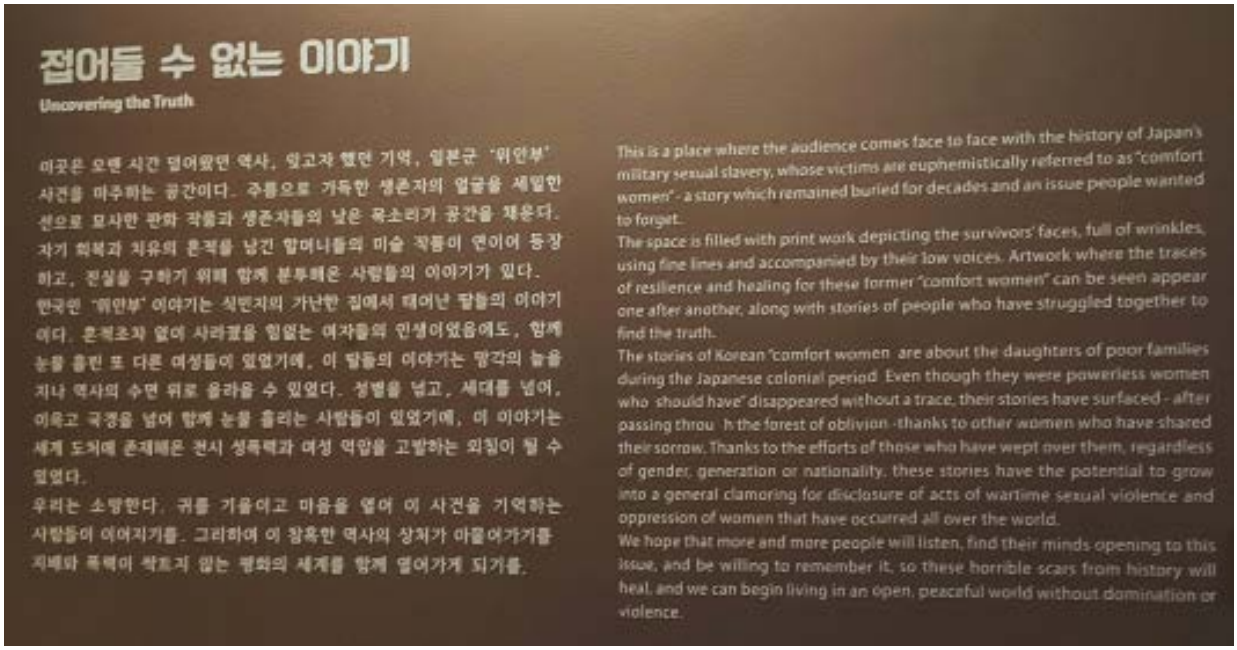
日本軍が作った宣伝用ビラ



塀に書かれた落書き

학생 제군 이여, 공부하는 목적이 무엇인가 조선동포 때문은 아니다
그렇다면 민주운동에 참가하자. (学生諸君、勉強する目的が何か朝鮮同胞のためではないなら、民主運動に参加しよう。) (Google 翻訳使用)

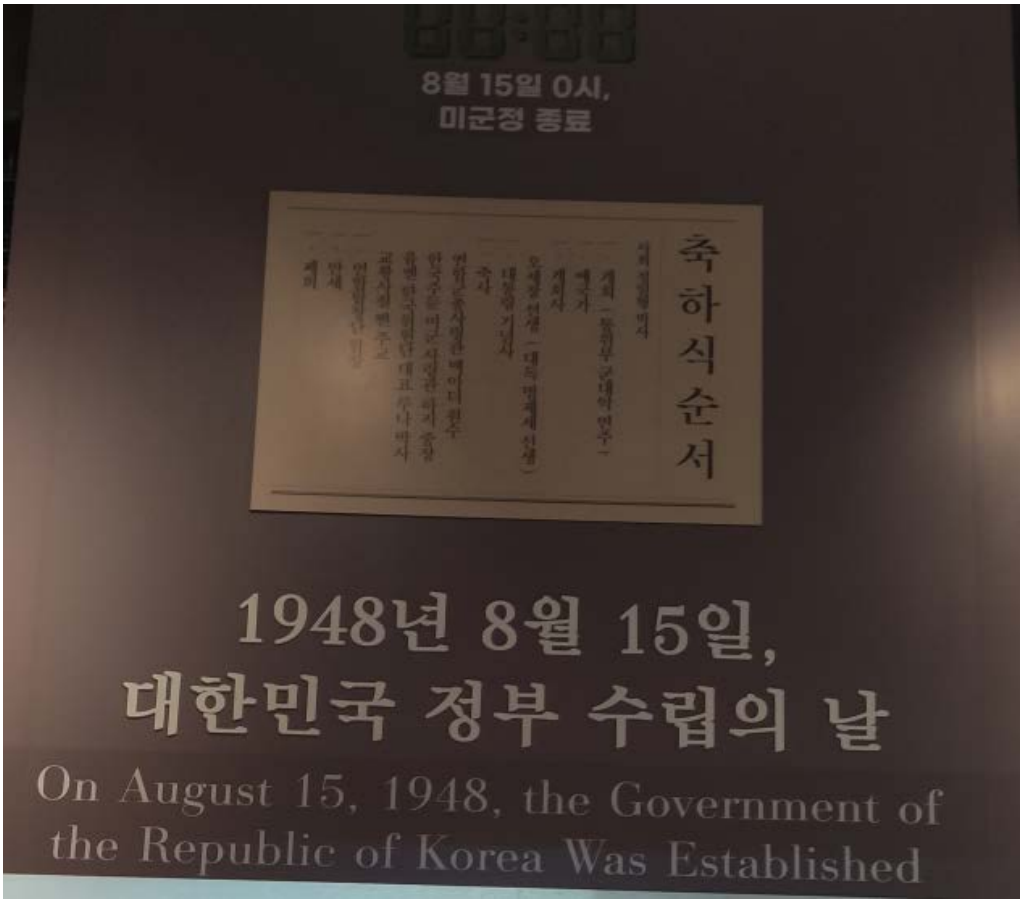
壁に書かれたスローガン
(中国と韓国両民族が聯合決起し、日本帝国強盗を打倒しよう!) 朝鮮義勇軍宣言
한국인과 중국인이 연합해 일본을 타도하자' 구호를 쓰고 있는 조선의용군 대원
「韓国人と中国人が連合して日本を打倒しよう」スローガンを書く朝鮮義勇軍隊員



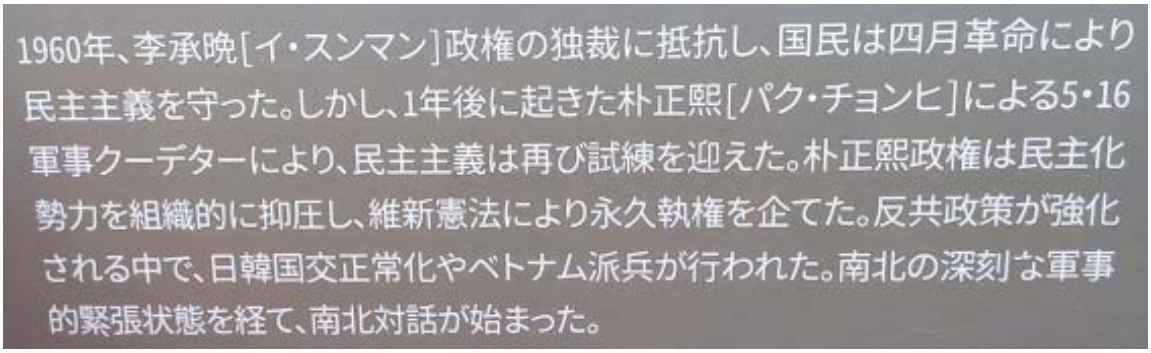
접어들 수 없는 이야기 (折りたたむことができない話)
Uncovering the Truth(真実を明らかにする) 慰安婦問題

「ここは、日本軍による性奴隷制度の歴史と観客が向き合う場所だ。その犠牲者は婉曲的に「慰安婦」と呼ばれている。この物語は何十年も埋もれ、人々が忘れたいと思っていた問題だった。 会場には、しわだらけの被害者たちの顔を細い線で描き、低い声で表現した版画作品が並ぶ。元慰安婦たちの回復と癒しの跡がうかがえる作品や、真実を求めて共に闘ってきた人々の物語が次々と現れる。韓国の「慰安婦」の物語は、日本統治時代の貧しい家庭の娘たちの物語だ。本来は「跡形もなく消え去るはずの無力な女性たち」だったが、悲しみを分かち合った女性たちのおかげで忘却の森を抜けて表面化した。性別、世代、国籍を問わず、涙を流した人々の努力によって、これらの物語は、世界中で起こった戦時性暴力や女性抑圧の行為を暴露する一般的な叫びに成長する可能性を秘めている。私たちは、より多くの人々が耳を傾け、この問題に対して心を開き、それを記憶に留めるよう願っている。そうすれば、歴史の恐ろしい傷跡が癒され、支配や暴力のない開かれた平和な世界で暮らし始めることができるだろう。」 (英文邦訳：Google 翻訳使用)

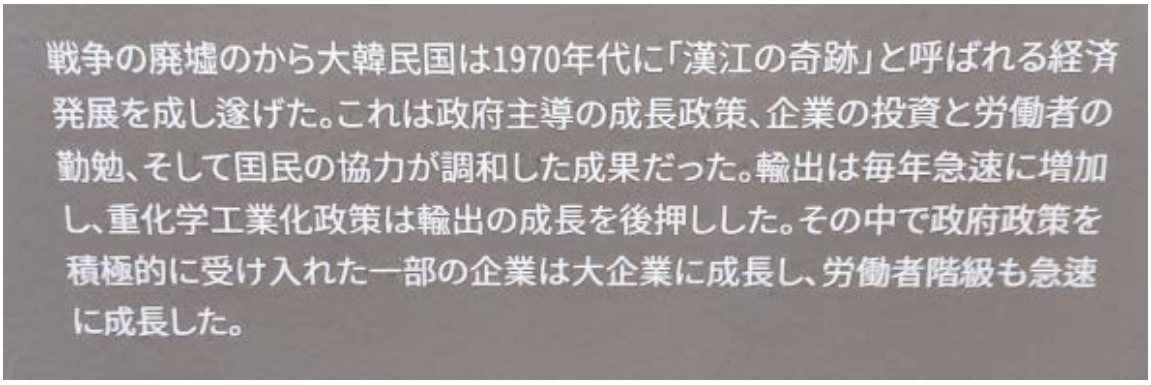
慰安婦の方たちの肖像(一つの部屋に置いてあった。)



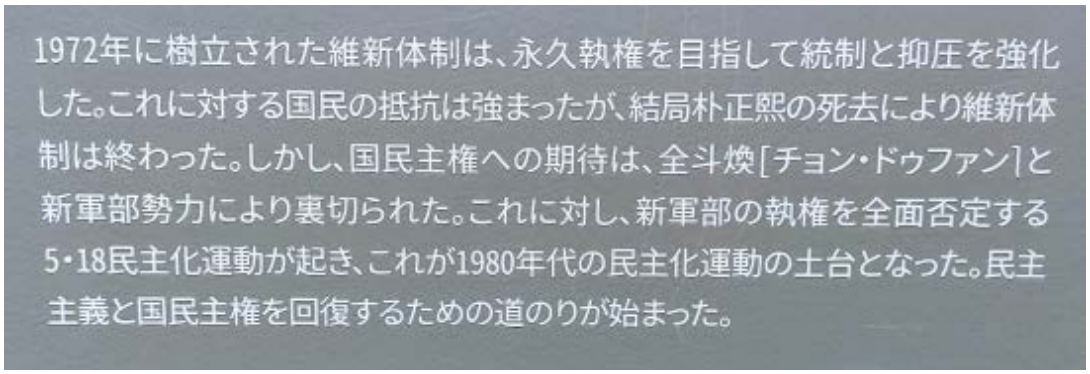
1948 年 8 月 15 日、大韓民国政府樹立の日



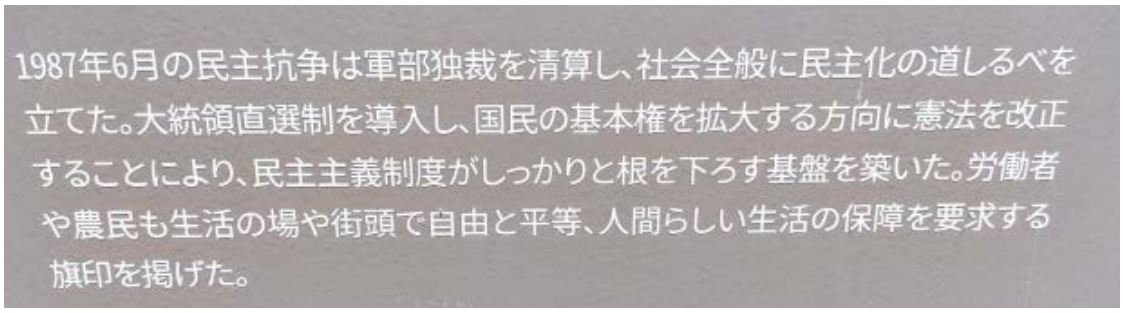
独裁政権に対する国民の運動の紹介



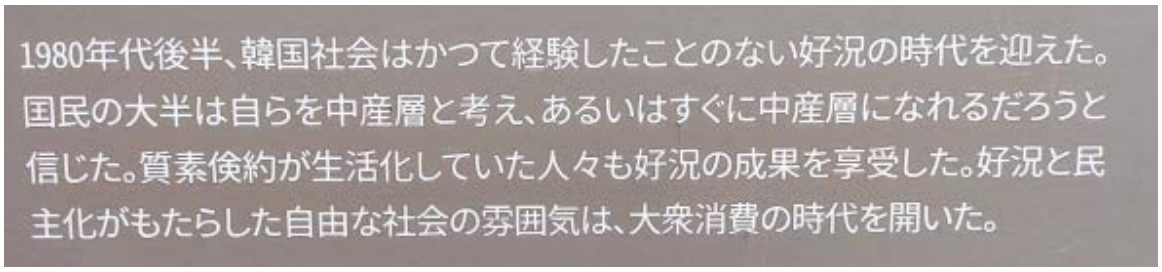
経済の発展と労働者階級の成長



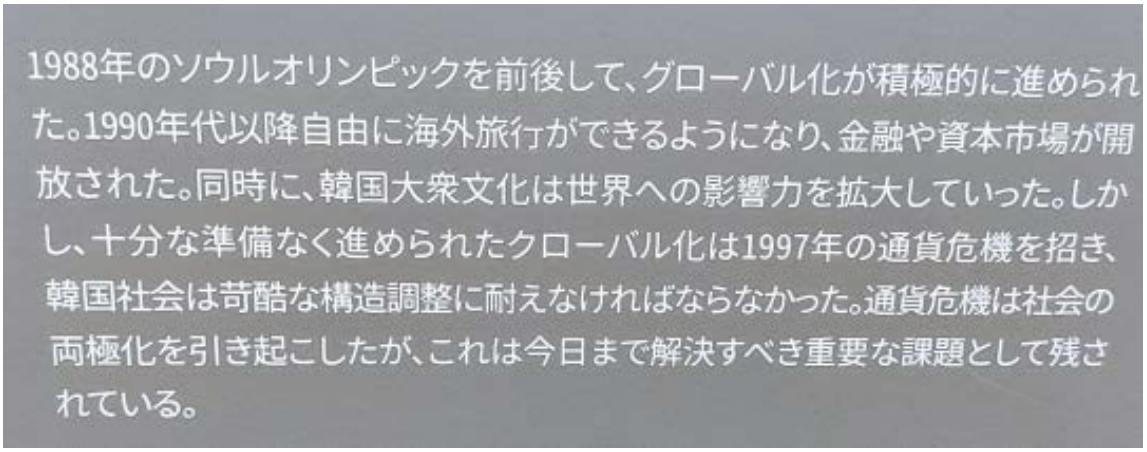
1970年代の軍事政権との戦い



1980 年代の独裁政権との戦い



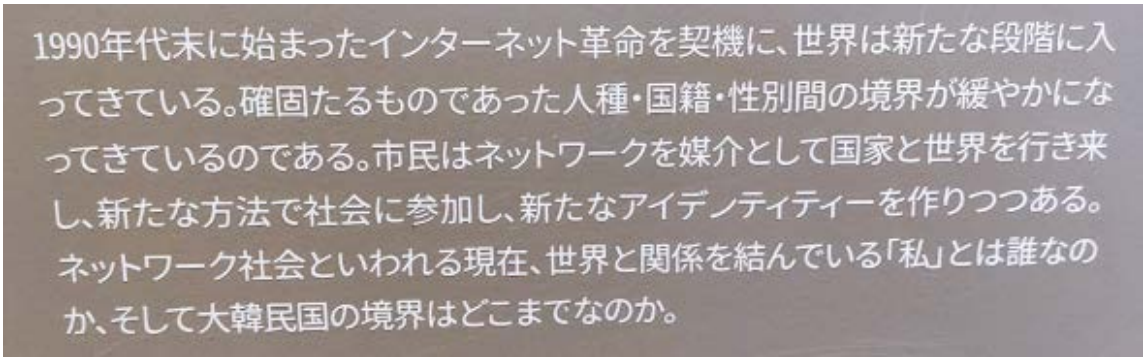
1980 年代後半大衆消費の時代



1988年～1990 年代後半の時代

2000 年代以降の K カルチャーの時代

2000 年代以降の K カルチャーの時代



2000 年代以降のインターネット革命の時代の韓国の未来

安重根（あん じゅうこん、안중근、1879 年 9 月 2 日-1910 年 3 月 26 日）の書画展が特別展として開催されていた。

安重根の書

安重根の書

ソウル駅の韓国食堂で전주비빔밥（全州スタイルのビビンバ）定食を食べた。
（約 1300 円）

ソウル駅(서울역)の夜景
明日のスーツケースを預けるところを下調べしてホテルへ戻る。

2024/11/10日(5日目　全日、帰国日)

「景福宮(경복궁역，キョンボックン)」見学

妻は昨日の個人戦も落としてしまったので、今日は帰国日でもあるため、チームメンバーの応援を免除してもらい、夕方まで観光をすることになった。ホテルでチームメンバーを見送ってから、チェックアウトを済ませ、スーツケースを持って駅に向かった。今日は古宮、景福宮(キョンボックン)を見て回る。

朝、書峴駅(서현역,ソヒョン駅)で見た光景がこれ。韓国では電車内に自転車の持ち込みができる。

プラットフォームの上には日本と同じように、電車の時刻を知らせる掲示板と、次の電車が何駅前に来ているかもわかるようになっている。
ソウルから離れると英語表示がなく、韓国語だけだ。まずはソウル駅に向かい、昨日下見をしておいたロッテアウトレットにスーツケースを預けて、朝のソウル駅の景色を撮った。

電車の時刻を知らせる掲示板

朝のソウル駅(서울역)の風景

景福宮(경복궁역:キョンボックン)の駅の名前は、英語表記、漢字、カタカナで書かれている。観光客が多いためだろう。古宮博物館の方から入って光化門(こうかもん、광화문、クァンファムン)の正面へでる。立派な門構え。この光化門は、韓国ソウル特別市鐘路区にある、景福宮の城門の遺構で、1394 年に建設されたのち、何度かの焼失・移動・復元を経て、2010 年 8 月に最新の門が一般公開されたという。ソウル駅で曇っていた天気も雲のない空になってきた。

景福宮(경복궁역:キョンボックン)駅駅名を示す看板は、日本語のカタカナもある。

光化門(서울역)の風景

光化門(서울역)の風景

光化門をくぐると下のような広々とした光景が広がる。この広場は韓国ドラマでよく見る大勢の武官や武官が勢ぞろいして並び王に謁見する場所である。真ん中にある門が興禮門(흥례문、フンレムン)で、この門は 1916 年に日本軍により取り壊されてしまったが 2001 年に復元されたもの。

興禮門(흥례문、フンレムン)の遠景

勤政殿(きんせいでん、근정전、クンチョンジョン)

こちらは勤政殿(きんせいでん、근정전、クンチョンジョン)。1395 年、李氏朝鮮の王宮である景福宮の中心部にあった正殿で、1867 年に興宣大院君によって再建された。勤政殿は文武百官からの朝賀を含んだ国家の大きな儀式を挙行したり、外国からの使臣を接待をしたりするなどに使われた。同時に法殿であったので、韓国ドラマにあるように、ここで、王が官僚と一緒に政治を行った場所である。

勤政殿（きんせいでん、근정전、クンチョンジョン）全景

こちらは勤政殿の内部。王が座る大きな椅子が真ん中にある。椅子の後ろには山の上に出ている太陽と月が描かれた絵がある。 建物内の面積はドラマで見るよりは狭いように感じた。

勤政殿の屋根の下の垂木などが複雑に組み合わさり赤・緑・青で装飾されており美しい。

慶會樓(경회루、キョンフェル) 勤政殿の西側に位置する楼閣。王が国家行事に使用していた建物。単一の建物として大韓民国に現存する最大の伝統木造建築物という。

慶會樓(경회루、キョンフェル) は、北岳山(북악산、プガクサン)と仁王山(인왕산、インワンサン)をバックに景福宮の中でも最も美しいところと言われている。確かに、今回みたいな天気の良い、風で波も立っていない水面に映る山や松の緑は素晴らしい光景

軒(のき)の上に置かれた置物は、雑像(잡상、チャプサン)という韓国の伝統建築によく見られる魔除け。三蔵法師と孫悟空らの西遊記の登場人物が、多くの盗賊を退治したように建物を守ってほしいという願いが込められているという。

向こうに見える五重塔は国立民族博物館(국립민족박물관)の建物で景福宮の外にある建物。銀杏の黄色と空の青さと松の緑のコントラストが素晴らしい。

結構の時間を景福宮で使った。その後、韓国ドラマの梨泰院クラスを二人ともみていたので、梨泰院(이태원、イテヲン)に出て遅いランチを食べた。その後、2022 年 12 月 13 日の雑踏事故(159 名死亡)の現場に行ってみた。現場は短い坂になっている。広くはなく(3.5m)、長さも長くない(40m)道に、多人数の観光客が押し寄せたというのが信じられない。当日梨泰院駅を利用した人は10万人だったという。

2022 年の梨泰院雑踏事故の現場は狭くて短い坂道
当時の事件の犠牲者を偲ぶ掲示板3枚が青い壁に沿って置いてあった。

梨泰院から移動してソウル駅に戻り、スーツケースをロッテアウトレットでピックアップして金浦空港に向かった。ソウル駅から金浦空港までは近かった。

韓国旅行で気がついたこと

- ✓ 女性に優しくない、電車で男が我先に椅子に座る
- ✓ 地方のホテルでは英語表示がほとんど無いので翻訳機が活躍する
- ✓ コンビニは日本と同じだが、物価は安い、飲食、雑貨など
- ✓ 交通費も安い。一線路で 250 円くらい。 1 時間乗車乗り継ぎで 600 円くらい。
- ✓ タクシーも普通。 短距離 700 円くらい
- ✓ ほとんどの人はマスクをしていない。一車両 5 人ぐらい。
- ✓ 電車の中で物乞いする人がいた。知らないで席を譲ろうと立ったら、前にいた男の人に席を取られた。 2,000 ウォン(200円)くらい小銭を準備していたほうがいいかも。
- ✓ 韓国の人は親切、道を聞くと教えてくれる
- ✓ 高齢の人で日本語のわかる人が食堂で隣に座った。親切。
- ✓ 街のビルの窓・壁は韓国語の宣伝がそこここにあり、ゴチャゴチャした感じ。
- ✓ 高齢者でもスマホを使っている人が多い
- ✓ 西大門刑務所歴史館と大韓民国歴史博物館で、韓国の子どもたちが日本の植民地支配をどう教わっているのかを知る。特に、大韓民国歴史博物館は、日本の植民地支配ばかりでなく、独立後の独裁政権批判など展示してあった。 ちょっと日本では考えられない博物館。
- ✓ エレベーターの高速ラインは大阪と同じ右側、車は日本と反対の右側通行

ここまで読んでいただき、ありがとうございました。